

A letter to UN High Commissioner of Human Rights.

Kotaro Miura

Excluding North Korean schools from Japan's new program to make high schools free of charge is "discrimination." ? UN High Commissioner of Human Rights.

According to Jiji Press, UN High Commissioner of Human Rights Pillay, during her visit to Japan, held a press conference before certain press companies including Jiji Press on the afternoon of the 14th, during which she expressed the opinion that excluding North Korean schools from Japan's new program to make high schools free of charge is "discrimination." Ms. Pillay described the change to free high schools as a very good progressive measure, but emphasized that the right to receive education must be extended to all people living in Japan; otherwise, it is discrimination. She insisted that the exemption from high school tuition must be extended to all students.

I can accept this statement as one possible point of view, assuming that it has been made after sufficient research into the educational content being taught at North Korean schools. However, there has probably been little opportunity for the High Commissioner to read the North Korean textbooks, as no English translations of them currently exist. I believe that it is impossible to fully understand the issues behind the North Korean high school exemption when basing one's opinions solely on the general idea that discrimination is bad, and that we should respect each school's individual policy towards educational content.

In order to help understand this problem, Hoshi he no Ayumi Publications has printed a Japanese translation of North Korean textbook, "Modern Korean History ? High School 2." This text includes Korea's history from

18

1953 to 1980, but there is no mention whatsoever of any events that would show North Korea in an unfavorable light.

Naturally the text includes nothing about North Korea's abduction of tens of thousands of Koreans during the Korean War. As for the Homecoming Project, which is the theme of our organization, the text states plainly that Chosen Soren promoted the Homecoming Project under the orders of Kim Il-sung. However, the returnees all learned upon the instant of their arrival in North Korea, from the poverty and lack of liberty in that country, that the promises they'd been given by Soren were lies. But the textbook of course makes no mention of the fate that awaited the returnees after their arrival, nor does it acknowledge the existence of Japanese wives who were brought along with their returnee husbands.

At the very least, I wish everyone would read this textbook before making their arguments that Japan must include North Korean schools in the new high school program, and I implore the Japanese government to read it over once as well, so that they won't be misunderstood in other countries. And as for the media, even if they are in favor of the subsidization of Korean schools, I'd like to hear a comment from them about whether or not it is acceptable to continue using this textbook at those schools. Will the continued use of this textbook really help forward the happiness of the children at North Korean schools?

Everyone knows that Kim Il-sung was not really born at Baekdu Mountain. But more essentially, I would like people read this textbook and think about this question. Is it appropriate for the nation of Japan to publicly support schools that use a textbook which describes this person ? who abducts Japanese, fires nuclear missiles, and allows huge numbers of people to starve to death in order to protect his dictatorship ? as a man with a "superior disposition and a pure and noble character" ?

19

内部資料
入手!

「高校授業料無償化除外は 日本当局の無知蒙昧な差別政策だ」 朝鮮総連が内部で悪罵 (22回大会決定など四点いきよ掲載)

資料 1

「百日運動期間の国際統一事業を

いっそう力強く繰り広げるための対策について」

(二〇〇九年十一月十一日、東京、地方本部委員長会議)

(1)、(2)略

(3) 親朝勢力をしっかりと固め拡大する活動

① 民主党をはじめ、与野党の有力人士と国会議員との人脈関係を再構築することに主力を置きながら、彼らを親朝勢力にくみこむこと。

② 言論界の親朝人士たちと支持者、同情者の隊列をしっかりと固めながら制裁撤回と総連弾圧中止、朝日関係の改善のための世論をつくりだしてゆく。 …(中略)…

(4) 日本当局の総連と在日同胞に対する不当な規制と人権蹂躞行為を暴露糾弾し、これを撤回させ、諸般の権利を擁護する

ための要請活動

① …略…

② 「高等学校授業料無償化」の施策が、在日同胞たちにもかからず適用されるよう運動をおこなう。

衆参文部科学委員会所属の委員と日教組出身の国会議員を対象化(二〇名以上)して、十月に集中的に要請運動を遂行する。

「高等学校授業料無償化」施策適用のいかんを把握することにもとづいて、十一月に文部科学省と与党の国会議員に対する要請運動を再開する。

各地方につくられた「朝鮮学校を支援する会」のメンバーが、かかわりのある国会議員たちや日教組幹部たちとの活動を十月と十一月にうまくやるようにする。

十一月に、昨年集めた「朝鮮学校に対する税制上優遇措置差別の是正を要求する請願署名」(三五万名分)を国会に提出する。 …(以下略)…

在日本朝鮮人総連合会中央常任委員会

第二期第二五次會議 決定書

総連の二〇〇九年度活動総括と
二〇一〇年度の主力課題について

二〇一〇、一、一

在日本朝鮮人総連合会中央常任委員会

朝鮮総連の二〇〇九年度活動総括について

一、敬愛する金正日將軍さまの崇高なる意思を高くとてまつり、二〇〇九年度の課題を遂行するための組織政治活動について…略…

二、朝鮮総連が二〇〇九年度の活動において成しとげた成果について…略…

…(中略)…

(1) 敬愛する金正日將軍様がお導きなされる祖国の繁栄のなかに在日同胞の幸せがあるとの確信にあふれて生き、たまたかうように活動家と同胞を育成した。…略…

(2) 支部と分会、団体基層組織を再建、活性化した。…略…

(3) 「同胞探し運動」を敬愛する將軍様の綱領のおことばの貫徹の基本手段としてその拡大に力を注いだ。…略…

善し、わが学校の生徒たちは日本のさまざま芸術コンクールや体育競技大会で優秀な成績をあげてわが民族教育の正当性と優越性をとどろかせた。

朝鮮大学校は父なる首領さまと敬愛する將軍さまのあたたかい愛がぎざまれた新校舎竣工五〇周年記念行事を延べ五千余名の同胞父母・卒業生たち、日本人士たちの参加のもと盛大に組織し、共和国の海外総合大学としての権威を示し、学生たちを愛国愛族活動の先進核心として育成する活動で新たな前進をもたらした。…以下略…

二〇一〇年度の主力課題について

一、総連組織に主体の思想体系・領導体系をいっそう確立することに力を注ぐ。…略…

二、「同胞探し運動」を全同胞運動としてくり広げる。…略…

三、総連は民族教育を固く守り発展させる活動を全組織的運動として力強くくり広げる。

敬愛する將軍さまにおかれては、民族教育活動を固く守り発展させることは、組織建設と愛国活動の出発点だとおっしゃった。民族教育活動を堅く守り発展させることは、現在同胞社会において民族性をまもり総連組織を固め在日朝鮮人運動のあらたな全盛期を開いていくうえでの焦眉の課題である。

総連は、日本の右翼反動勢力が反共和国・反総連策動や反

(4) 総連は、在日朝鮮人運動のあらたな全盛期をひらく土台を築くうえで重要な位置にある民族教育の固守発展に大きな力をそそいだ。

①何よりもきわめて深刻な状況におかれているわが学校の学生数の減少現象と学校運営の難関をなんとかしても打開するための活動を強力に推進した。

とくに最近年間の学生数の減少で廃校の危機まで経験した西東京朝鮮第二初級学校は学区管下の町田支部、神奈川・中北支部の同胞たちの積極的な支持と協力のもと一九九八年に廃園になった幼稚班を二〇〇七年にふたたび開園し、この三年間で生徒数を二倍に拡大して、断固として学校をまもりぬき発展させた。

この学校のリ・ジョン工校長が教員たちを堅く団結させ、不屈の精神力と純潔な良心、自己犠牲的熱情をすべて捧げて達成した傑出した成果や経験は、教育者だけでなく総連各級組織責任者たちや、幹部、熱誠同胞たちにも衝撃的な感動をあたえ、学生引入れ活動の貴重な模範として学び、民族教育の固守発展へと奮い立たせた。

各地の組織や学校で学父母をはじめとした同胞たちは「学校愛——ひと口運動」(訳注・ひと口いくらの資金カンパ)や、教育権を拡充するための大衆的運動をくりひろげ、困難な政治経済的状況のなかで学校運営を保障することに熱い熱意を発揮した。

②各級学校の教員たちは、教育学的資質をたかめ、教授教養活動や学校内の朝青(朝鮮青年同盟)・少年団活動を改動宣伝攻勢を長期にわたってあくらつに敢行し、同胞社会が世代交替し年ごとに同胞の数が減っていくにつれて、わが学校の生徒の数がしだいに減り、同胞の急激な経済生活難によって学校運営がきわめて深刻化している今の状況で新年を「民族教育を強化する年」として、どんな手段をつかってでも民族教育を固く守り発展させるための活動を不退転の決心をもって繰り返す。

総連各級機関や学校は、西東京朝鮮第二初級学校リ・ジョン工校長と教職員たちが、敬愛する將軍さまにたいする忠誠心をいだいて、先代にたいする義理をつくし、後代の未来を思う一念でわが学校を守り発展させるために発揮した強い精神力と犠牲心、任された活動にたいする責任感を学ぶことである。

①民族教育を固守発展させるためになによりも学生減少現象をくいとめる学生引入活動に総力をつくすことである。

総連本部委員長の責任のもとに支部と団体、学校が緊密に連携して本部と支部の「民族教育対策委員会」を再編成してその機能をたかめ、とくに学校長の役割を決定的にたかめさせることである。

本部と支部は、専任幹部や教員、熱誠同胞およびわが学校卒業生を発動して引入れる対象をあますところなく掌握・拡大して教育宣伝活動と訪問活動をつよめることである。

そうして各界各層の同胞子女をわが学校に積極的につけ入れ、転出生(訳注・日本の学校などへの転校)を決定的

にくいとめて日本学校に在学している同胞子女を編入させる活動をぬかりなく繰りひろげることである。
初級学校（訳注・小学校）新入生を受け入れる基本的な源泉となる幼稚班をすべての初級学校に併設し、学齢前の同胞子女を民族教育体系に網羅する活動を力強く進めることである。

資料⑤

総連本部委員長・中央団体責任者会議

報告（要旨）

二〇一〇年一月十三日

同志たち。

私は主体九九（二〇一〇）年を迎えて偉大なる金正日將軍さまの崇高なる思想意図を高く受け止め、新年の愛族愛国事業の重責を担い、立ちあがった総連本部委員長と中央団体の責任者たち、教育部門の責任活動家をはじめとする各同志たちに熱烈なる新年の挨拶を送るものであります。

敬愛する將軍さまの思想意図が込められた共同社説と共和国最高人民会議常任委員会金永南委員長の名義でお送りくださった新年の祝電ではっきりと明らかにされているように、強盛大国建設のための朝鮮革命は新しい歴史的局面に入ったのであり、総連と在日朝鮮人運動の前にも昨年と比べることのできない高い要求性と膨大なる課題が提起されております。

軍さまが明らかにされた今年の総連活動家の方向と共同社説、新年の祝電に盛り込まれた敬愛する將軍さまの指導構想を心臓で受け止めて、偉大なる精神力を余すところなく噴出させて二〇一〇年度の全般の活動と当面の第二二回全体大会を、新たな全盛期を開拓する跳躍の契機として迎えるための闘争に総決起することにあります。

今日の会議を通じて責任活動家たちの思想的決心とともに第二二回全体大会までに達成する目標と運動形態、組織活動をはじめとする具体的な活動作戦について政策的的一致と行動の一致をみて、各級組織と学校組織においてただちに戦闘に突入するようにしなければなりません。

…（中略）…

一、…略…

二、…略…

三、第三は大衆獲得問題、在日同胞民族圏の固守拡大闘争を民族教育活動を中心において繰り広げることにかんし敬愛する將軍さまの思想と意図を深く把握してここを絞って集中する事でありませぬ。

敬愛する將軍さまにおかれましては民族教育活動の現実態と西東京第二初級学校リ・ジョンエ校長の活動についての報告をお聞きなされて、今年を「民族教育を強化する年」とお定め下さり、決死の覚悟と不退転の意志で民族教育を固守発

と。

女性同盟は学齢前の児童さがし運動を力よく繰りひろげて、幼稚班園児をふやす活動でより大きな役割を果たすことである。

…（以下略）…

昨年、一五〇日戦闘と一〇〇日戦闘において奇跡を創造し、その進軍の速度を一瞬間も遅らせることなしに新年の最初の朝から総攻勢に拍車を加えている祖国人民たちは、新年の劈頭（へきとう）から零下三〇度を上下する酷寒のヒチヨン発電所の建設所をお訪ねなされたのに続いて、ジェリヨン鉱山とイエソン江青年二号発電所をはじめとする多くの単位にたいし精神的な現地指導の道を歩んでおられる偉大なる將軍さまの聖なる映像に激情を抑えることができず、全国が活火山の溶岩のように沸き立っております。

総連も昨年末に「一〇〇日運動」の総括がなされるやただちに新年闘争の作戦を樹立し、今年最初の闘争から強度を高めて総連第二二回全体大会まで運動の氣勢を引きついでいくように組織化活動を組みあわせてきました。

総連中央は新年の活動の高い要求性により、総連本部委員長たちと中央団体の責任者たち、そして今年闘争において重要な中心問題とも関連して教育部門の責任活動家もともに参加する「総連本部委員長・中央団体責任者会議」を年初にもつづうにしたのであります。

今日の会議の目的は、総連の責任活動家たちが、敬愛する將軍さまに明らかにされた方針をお与え下さいました。

そしてリ・ジョンエ校長の高潔なる精神世界と傑出した功績に学ぶための運動を組織展開することについて、お教え下さいました。

敬愛する將軍さまにおかれては、リ・ジョンエ校長の活動に学ぶようにせよとおっしゃられたことは、日ごとに深刻化する民族教育の状況のなかでも、いちど廃園になった幼稚班を復活し、学生減少の現象を食い止めただけでなく、むしろ逆転させて三年間に学生数を二倍に拡大し、学校を蘇えらせたその精神力と犠牲性、責任性を評価なさったからであります。

今日の民族教育固守闘争における基本は、深刻な危機的状況におかれている学生減少現象に終止符を打ち、これを逆転させる事でありませぬ。

われわれは民族教育が在日朝鮮人運動の生命線であるということをあらためて深く胸にきざみ、どんなことがあっても学生引き入れ活動に転換をもちたらし、転出生を徹底的に防ぎ学生数を大きく増やさなければなりません。

…（中略）…

(2) 民族教育活動中を心におき、大衆活動を繰り広げることにかんする敬愛する將軍さまの教えのとおり、危機的状況にある民族教育活動から突破口を開くことにあります。

総連の民族教育の歴史は約六五年を数えておりますが、敬愛する將軍さまにおかれては御自ら民族教育の実態を深刻に憂慮なされて、今年を「民族教育を強化する年」とお

定め下さり、不退転の覚悟で民族教育を固守せよとの方針をお与え下さったのは初めてであります。

これはわが活動家たちが口だけで民族教育を生命線であると言いつつ、実際には日ごとと危機的状況におかれていた民族教育の活動を固守するため犠牲的に闘争するのはなく、現実には追従し、敗北主義に陥り、「学校統廃合」とかを主張したわが活動家たちに対するきわめて厳しい批判のお言葉として受け取らなくてはなりません。

敬愛する將軍さまにおかれては、ジョン・エ校長について評価なさったことも、学生増加の数字でなく「なせば成る」の決死の覚悟で危機を克服し、むしろ逆転させたり、ジョン・エ校長の精神世界をご覧になったのであります。

民族教育活動を見ると、本部委員長をはじめとする責任活動家たちがおしゃべりだけをして活動報告を受け取っているが、実際にはいちはばん動かない活動家になっております。

埼玉県本部リ・ジョンマン委員長は現在の民族教育活動の実態をつねに掌握し、今年ももともと苦しい対象を率先して引き受け、ねばりつよく活動し、ついにわれわれの学校に引き入れる事によって本部的な学生引き入れ活動の先頭に立って推進しました。

ところが、本部委員長のなかには、管下の学校活動や学生引き入れ活動の具体的状況について、数字一つはつきりと知らず、教育部長や担当副委員長にみな任せている委員長もおります。

工組織から新たな発想へと転換し、転出生を徹底的に食いとどめるための活動にすべての人が取り組まなければなりません。

「学童保育」「延長保育」など父母たちの要求を実現する活動も、条件をあこれあげつらうことなく革新的な眼目と犠牲性を発揮して突破しなければなりません。

一月三十日に東西に分けておこなった教育、研究集会を契機に教育活動家たちは今年を「民族教育を強化する年」とお定め下さった敬愛する將軍さまの思想意図を深く受け止めて総決起し、各級、学校と学区制においてリ・ジョン・エ校長に学ぶ運動にいつせいに立ち上がり「九〇日運動」から民族教育活動における新たな風を吹きおこし、今年

資料 4

総連第二二次全体大会報告

主体九九（二〇一〇）年 五月二十二日

I 総連第二期活動の総括について

一、総括期間、われわれは総連を各界各層の広範な同胞たちを網羅した愛族愛国同胞群衆団体に作るうえで前進をなしとげた。…略…

二、われわれは民族教育活動の前に横たわる難局を開き、困

われわれは敬愛する將軍さまにご心配をおかけした自責の念をもつて、まず民族教育活動に対する観点から正さなければならず、本部委員長をはじめとする責任活動家たちからリ・ジョン・エ校長の精神力と犠牲性、責任性を真に学ばなければなりません。

そして本部委員長が管下の民族教育活動に責任を負うという確固たる姿勢をもって学校長たちは教育現場を責任ある活動家らしく自己の本分をつくさねばなりません。

西東京第二初級学校の学区内にある西東京町田支部のリ・ジンファ委員長や神奈川中北支部ウィ・ギョンホ委員長のように学校長を信念でもって助け、学校が提起する問題をすべて責任を負って引受ける模範をあらゆる学区支部委員長が学ばなければなりません。

このように民族教育を中心に愛族愛国運動を繰り広げよ、とおっしゃられた敬愛する將軍さまのお教えの深奥なる意思を深く刻んで、観点から変えて、覚悟を固めることを新たにしていこそ、学生引き入れ問題も解決し、学校運営も解決するようになります。

専任・非専任活動家たちと教育活動家たち、父母たちをはじめ熱誠者たちが不退転の覚悟で民族教育を固守、発展させる闘争姿勢を確固として打ち立て、当面する三月三十一日まで一人でも多く学生を受け入れるために、最後まで戦闘を繰り広げなければなりません。

そうして四月までハラをきめて二〇一〇学年度の最初から各級組織と学校において学生引き入れの対象確保と、分戦闘の成果として二〇一一学年度には必ず学生減少をくいとめ、逆転させなければなりません。

「同胞探し運動」においても基本は民族教育を受けた同胞たちを主人に押し立てる事であり、本部の報告を見れば、卒業生の名簿をもとに掌握されている数字はきわめて大胆なものです。が、日常的に発動される同胞は実際に何%にもなりません。

非専任まで含めて同胞大衆のなかで、われわれの学校を卒業した同胞たちもつとも貴重な財産ですが、本部委員長たちが卒業生名簿で数字遊びをしては絶対になりません。必死になって探し出し、くり返し会い、彼らの心に真実で訴えかけ、愛国勢力に仕立てあげなければなりません。

難な形勢を逆転させるうえで前進を成しとげた

総括期間、民族教育の前にはいつにもまして深刻な難関がつくられ、これは同胞社会の存続と在日朝鮮人運動の前途と関連する重大な問題として立ちあらわれた。

総連各級機関と活動家、学父母をはじめ熱誠同胞たちは在日朝鮮人運動の生命線である民族教育を固守するために不退転の覚悟で立ち上がった。

各地の総連活動家たちと教育活動家たち、熱誠同胞たちは、民族性の固守と継承の拠点であり、同胞子女たちのぐらであるわれわれの学校を断固として守りぬく決心で初級新入生をいっそう多く受け入れ、日本学校に通っている同胞子女たちも編入させ、今年度は少なからぬ学校で生徒の減少を食

い止めればかりか、生徒数を増やすという貴重な成果を成しとげた。

総括期間、朝鮮大学校が学舎移転五〇周年を盛大に記念した。また、多くの学校で創立六〇周年をはじめ、それぞれの周年記念活動を同胞群衆的に盛大にとりおこなった。

各級学校ではこれを契機に学区制管下、本部と支部、学父母と教員たちが一体となって学校をいっそうたくみに切り盛りする活動と、学校を愛する運動をいっそう力強くくり広げた。

そして、学父母たちの要求を実現するために支部の活動家と教員、オモニ会が立ち上がって、生徒たちのための「学童保育」、「給食」などを実施し、学校を生き生きとさせた。

活動家たちと学父母たち、新世代をはじめとする同胞と生徒たちは、高等学校授業料無償化においてわが朝鮮高級学校を除外しようとする日本当局の不当な措置に民族的義憤を禁じえず、この無知蒙昧な差別政策をただちに撤回し、そのまま適用するよう要求する闘争に果敢に立ち上がった。またたく間に各界各層の広範な日本人士たちを呼び起こし、われわれを支持する社会的世論を高めた。

とりわけ総連各級組織と教育活動家たち、熱誠同胞たちは、敬愛する金正日將軍様の思想意図を高く奉じ、ことしを「民族教育を強化する年」として輝かせることによつて在日朝鮮人運動の新たな全盛期を民族教育活動から切り開いていく決心で総決起したのであった。ここにおいて四月二十五日におこなった「今年を民族教育を強化する年とするための代表者」われわれは在日朝鮮人運動の新たな全盛期を開拓するために民族教育活動から突破口を切り開いていくであらう。

世界の数多い海外僑胞団体のなかで幼稚園と初級学校から大学にいたる整然とした教育体系をつくり上げ、民主主義的民族教育を実施しているのは総連組織だけである。

総連は民族教育を受けた一〇万人を超える卒業生たちで半世紀以上の長きにわたつて民族的愛国運動を受け継いできており、かれらが主役となつて在日同胞民族文化圏を形成し、同胞経済圏を構築してきた。

総連は民族教育の前に横たわつた今日の難局を果敢に突破し、明るい展望をしっかりと見つけながら民族教育活動の新たな発展段階を切り開いていくであらう。

われわれは新たな全盛期にふさわしい民族教育の発展のために全組織的な力をかたむけ、わが学校の生徒・学生数の減少状況に断固として終止符を打ち、逆転させるであらう。

総連各級組織は「民族教育対策委員会」の機能と役割を高め、民族教育の優位性についての教育宣伝を大々的におこない、わが学校の卒業生との日常的な連携を結び、子女をもれなくわれわれの学校に受け入れるであらう。

また、生徒・学生引き入れ対象を民団と未組織、日本国籍をもつ同胞にまで広げ、各界各層の広範な同胞たちとの活動を積極的にくり広げ、とくに全組織と熱誠同胞

会議」は、大いなる契機となった。

民族教育の前に横たわる難局に立ち向かい、逆風をはね返し、生徒減少状況に終止符を打つだけでなく、困難な情勢を逆転していく新たな流れを作り出したことは、在日同胞社会の存続と在日朝鮮人運動の前途を保障する特別に重要な意義をもつものである。

…(中略)…

Ⅱ 在日朝鮮人運動の新たな全盛期のために

一、総連と在日朝鮮人運動の新たな全盛期を切り開くことについて

- (1) …略…
- (2) 新たな全盛期を整えるための主要な活動分野で突破口を切り開くことについて

在日朝鮮人運動の新たな全盛期を切り開こうとするならば、愛族愛国の伝統と業績をしっかりと継承し、総連の全般的活動を新世紀の要求に合わせて革新していかなければならない。

愛族愛国運動の継承と革新において中心問題であり、新たな全盛期を切り開くための闘争において全組織が力を集中しなければならぬ主要な分野は民族教育活動と新世代との活動、同胞商工人との活動である。

①民族教育活動を固守し、新たに転換させることについて民族教育活動は、総連組織建設と愛族愛国運動の出発点であり在日朝鮮人運動の生命線である。

を發動して日本の学校に通っている子女たちをわれわれの学校によりおおく編入させる活動を本格的にくり広げるであらう。

われわれは初級学校に幼稚班を併設し、女性同盟が主管し、すでに活性化している「母と子どもの集い」をすべての支部で運営し「幼児教室」を積極的に設けることによつて、この活動が新世代の同胞たちの子育てを支援するだけでなく、わが幼稚園の園児拡大へとつながるようにするであらう。

総連支部に準正規教育体系である土曜児童教室を設け「民族学級」生徒数を増やすことによつて、正規教育網と準正規教育網に初級学校年齢の在日同胞子女の五〇%以上を網羅させるであらう。

総連は民族教育の主體的、民族的性格を固守し、教育の質をたえまなく高め、日本の実情と変化した環境に合わせてその内容と方法を不断に改善していくであらう。

民族科目教育に基本を置き、生徒たちを祖国愛と民族愛を備えた堂々たる民族の成員に育て、実力向上と資格習得に力をいれ、われわれの生徒を朝鮮語とともに日本語と英語もたくみにあやつり、日本と国際社会においても能力を発揮する魅力ある人材に育成すること。(以下略)

二、同胞の幸せと次代の未来のための活動を決定的に強めることについて

(1) 「同胞探し運動」をいっそう本格化、活性化していくことについて
…略…

(2) 在日朝鮮人の地位向上のための権利獲得運動を全同胞的にくり広げることについて
…略…

①同胞の尊厳と位相を高めるために…略…

②総連は愛国先代が闘争でたたかいた同胞たちの民族的権利を断固として守り抜き、当然受けるべき新たな権利を闘い取り、拡大するために積極的に活動するであらう。

何よりも「マンギョンボン一九二」号の入港禁止措置を撤回させる闘争をはじめ、日本当局の不当千万な反共和国制裁措置による在日同胞の人権侵害の真相を国連をはじめ国際機構に暴露し、在日同胞に対する支持声援運動をくり広げるであらう。

これとともに高等学校授業料無償化から朝鮮高級学校を除外しようとする日本当局の措置は許しがたい、いまひとつの時代錯誤的な差別策動として断固として反対・排撃し、無償化がそのまま適用されるように全同胞的闘争を力強く展開する。

また、われわれの学校に対する教育補助金の増額と、税制上優遇制度適用対象から除外している差別の是正を要求して引きつづき頑強に闘争するであらう。
…以下略…

朝鮮学校無償化私はこう思う

朝鮮学校無償化支援の問題

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会

荃田 弘道

その一

朝鮮学校学費無償化問題で、大阪の橋下知事が学校視察と理事者側との会談をしたとの記事から、その内容の適否を検討してみた。まずこの行動そのものは政府自らが見習うべき態度であろうと思う。知事の出した会談の条件は、北朝鮮政府の管掌下にあるとみられる朝鮮総連との関係を絶つこと。北朝鮮の指導者を崇拜する教育をしないことであったが、朝鮮総連が「民間団体」として北朝鮮政府の介在がいっさいないことを証明し、それを確認するなら友誼団体としての関係を絶つまでの必要はないのではないか。

北朝鮮の政体は、半島南北の武力統一を強行した金目成の個人独裁であり、全土を戦禍にさらされた住民の被害の甚大さは償いようもないが、さらに王朝的な

総連内部文書の紹介にあたって

朝鮮総連の内部文書四点は、朝鮮高校無償化除外が総連組織の維持に直結する死活問題であり、生命線を絶たれる重要問題であるとの認識をあげすけに語っており、きわめて興味ぶかい。

善意の日本国民は朝鮮高校の無償化除外を「朝鮮人差別はよくない」ととらえがちであるが、朝鮮総連という金正日独裁政権の出先機関自身が日本の公金を取れるかどうか、民族教育を守れるかどうかを彼らの「組織の存亡の危機」と称して必死の形相で取り組んでいる実態を知っていただくために関連部分を紹介するものである。

(四点の総連文書はすべて朝鮮語。翻訳は「光射せ！」編集部)

が感ずるところ、まだ声が小さい。日本国家の公務員ですから歌うことは義務。しっかりお願いします」と云い副えた。

先の戦争で被害を経験したことのない者の云いそうな事だが、問題はそれで北朝鮮の専制政治を云々できるものだとするその身勝手さに嘩然とさせられたが、いま一つ問題なのは、「赤旗」紙をはじめ多くの民間の人権や文化の推進団体がこぞって今回の高校学費無償化から朝鮮学校を除外するのは不当な差別だということである。それなら北朝鮮の専制体制を公然と在日の子弟に教化しても他国の問題だから仕方ないと云えるものだろうか。国民を主人公としない独裁国が自国民を将軍様崇拜の鋳型にはめて、日夜地獄の責苦を背負わせられている体制の一翼に加担することになっても、止むをえないと云えるものなのか。構えて差別の実体を見失ってはならないのではないか。生かじりの疑似右翼が吐く言辞がどうであれ、前段で述べたように問題の置かれた本質をよく見きわめて、在日者の子弟支

がらに世襲制を取るに及んでは何をか云わんやで、将軍様崇拜の教育を住民に強いたのでは在日韓国人の立つ瀬がないのではないかと私のような戦時中の日本軍国主義を知る年配者にとっては他人事ではすまされぬ。したがって朝鮮学校側の崇拜教育がないことを確約した文書の提出を得たうえで、日本に居住する者としての当然の権利として無償化支援の政策を実施すべきと判断されます。

その二

朝日紙 四月二日付の報道によれば、大阪の橋下知事は新採用府職員一三七名の任命式で、君が代斉唱後「思想、良心の自由と云っている場合じやありません。国家・国民を意識してもらったため、今後事あるごとに国歌斉唱を求めていきたい」と訓示した。また新職員に「僕